

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	さび落とし 液体タイプ
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途	浸漬用錆取り
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質 専門家等の判断を仰ぐこと。
整理番号	M241216

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(呼吸器) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(血液系 腎臓 中枢 神経系)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分 類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H332 吸入すると有害 H370 呼吸器の障害 H371 血液系、腎臓、中枢神経系の障害のおそれ H402 水生生物に有害
注意書き	
安全対策	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこ と。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 (P270) 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 (P280) 応急措置
	飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 (P301+P330+P331)

皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
(P303+P361+P353)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
(P308+P311)

気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
(P363)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
リン酸	15.0～20.0%	H3PO4	(1)-422	既存	7664-38-2
非イオン系界面活性剤	-	-	-	-	-
両性界面活性剤	-	-	-	-	-
エチレングリコール	4.5%	HOCH2CH2OH	(2)-230	既存	107-21-1
精製水	-	H2O	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。水でうがいをする。

皮膚に付着した場合

多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

多量の水または牛乳を飲ませ、直ちに医師の診断、手当てを受けること。

応急措置をする者の保護

特に必要としない。

5. 火災時の措置

消火方法

周囲の火災に応じた消火方法を取る。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業の際は、適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避けること。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起こさないよう措置を講じること。
封じ込め及び浄化方法・機材	こぼれたものはウエス等に吸収させるか、極力かき集めて密閉容器に回収する。 残りは大量の水で洗い流すこと。
二次災害の防止策	特に必要としない。

7. 取扱い及び保管上の注意	取扱い	取扱い技術的対策	適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用する。
		局所排気・全体換気	局所排気、全体換気を行う。
		安全な取扱い上の注意事項	皮膚、眼との接触を避ける。吸入又は飲み込んではいらない。 取扱い後はよく手を洗う。 酸性なのでアルカリ性、塩素系の製品との接触を避ける。
保管	保管条件	容器を密閉して冷所で換気の良いところで貯蔵する。	

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度（産衛学会）	許容濃度（ACGIH）
リン酸	未設定	1mg/m3	設定あり
エチレングリコール	未設定	未設定	設定あり

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
リン酸	未設定	未設定
エチレングリコール	10ppm	50ppm

許容濃度（ACGIH）参照先：<https://www.acgih.org/>

設備対策		特に必要としない。
保護具	呼吸器の保護具	適切な保護マスクを着用すること。
	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	適切な保護眼鏡を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
	衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態
形状
色
臭い
融点／凝固点
沸点又は初留点及び沸点範囲
可燃性
爆発下限界及び爆発上限界 下限
／可燃限界
上限
引火点
自然発火点
分解温度
pH
動粘性率
溶解度
n-オクタノール／水分配係数

蒸気圧
密度及び／又は相対密度
相対ガス密度
粒子特性

液体
液体
透明
無臭
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
0～1.0
データなし
水
データなし

データなし
1.2(20℃)
データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
化学的安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質

危険有害な分解生成物

アルカリと反応して発熱する。
通常の使用条件で安定。
情報なし
アルカリ、塩素系製品との接触。
アルミニウム、銅、銅合金。
塩素系製品と接触した場合、塩素ガスを発生する。
情報なし

11. 有害性情報

急性毒性
経口

経皮

吸入

皮膚腐食性／皮膚刺激性

急性毒性推定値が5272.5mg/kgのため区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
急性毒性推定値が2918.475mg/kgのため区分5とした。

JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(気体)
GHS定義による気体ではない。
(蒸気)
急性毒性推定値が50000ppm超のため区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(粉じん・ミスト)
急性毒性推定値が2.4257262mg/lのため区分4とした。

製品のpHが1のため酸(pH≤2)とし、区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性／
眼刺激性
呼吸器感作性

製品のpHが1のため酸($\text{pH} \leq 2$)とし、区分1とした。

皮膚感作性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖細胞変異原性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

発がん性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖毒性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

(生殖毒性)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

(生殖毒性・授乳影響)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(血液系)の成分が4.5%のため、区分2(血液系)とした。

区分1(腎臓)の成分が4.5%のため、区分2(腎臓)とした。

区分1(中枢神経系)の成分が4.5%のため、区分2(中枢神経系)とした。

区分1(呼吸器)の成分が20%のため、区分1(呼吸器)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

誤えん有害性

動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)

(毒性乗率 $\times 100 \times$ 区分1)+(10 $\times$ 区分2)+区分3の成分合計が30%のため、区分3とした。

水生環境有害性 長期(慢性)

(毒性乗率 $\times 100 \times$ 区分1)+(10 $\times$ 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合も都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意	国際輸送分類	国連番号	3265
		国連分類	8
		容器等級	III
国内規制	陸上輸送	労働安全衛生法等の規定に従う。	
	海上輸送	船舶安全法の規定に従う。	
	航空輸送	航空法の規定に従う。	

15. 適用法令	労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)
		名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)
毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 化審法 消防法 大気汚染防止法 海洋汚染防止法		りん酸(政令番号:618)(10%-20%)(営業秘密)
		エチレングリコール(政令番号:75)(5%未満)(営業秘密)
		濃度基準値設定物質(安衛則第577条の2第2項、令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日公示第24号)
		皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧)
		りん酸
		皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧)
		エチレングリコール
		非該当
		非該当
		優先評価化学物質(法第2条第5項)
		非危険物
		揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
		有害でない物質(施行令別表第1の2)

外国為替及び外国貿易法 船舶安全法 航空法	有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1） 有害液体物質（Y類同等の物質）（環境省告示第148号第2号） 有害液体物質（Z類同等の物質）（環境省告示第148号第3号） 輸出貿易管理令別表第1の16の項 腐食性物質（危規則第3条危険物告示別表第1） 腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	その他の危険物・腐食性物質（法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号）
16. その他の情報 参考文献	製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS） 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイドンス 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。
その他	記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。あくまでも参考情報として提供するものであります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。